

製品名: USP11 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82934**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,FC 1:200-1:400
分子量	109.8kDa

抗原情報

遺伝子名	USP11
別名	UHX1
遺伝子 ID	8237.0
SwissProt ID	P51784
免疫原	大腸菌で発現したヒト USP11 の精製された組み換え断片。

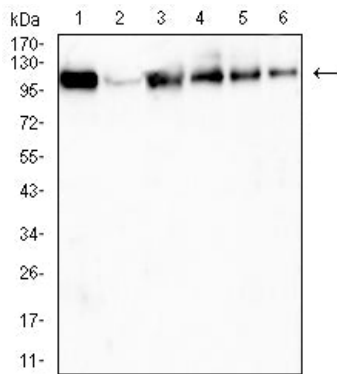
背景

タンパク質のユビキチン化は、細胞周期の進行、転写活性化、シグナル伝達など、多くの細胞内プロセスを制御します。ユビキチン結合酵素と脱ユビキチン化酵素が関与するこの動的なプロセスは、ユビキチンの付加と除去を行います。脱ユビキチン化酵素は、ユ

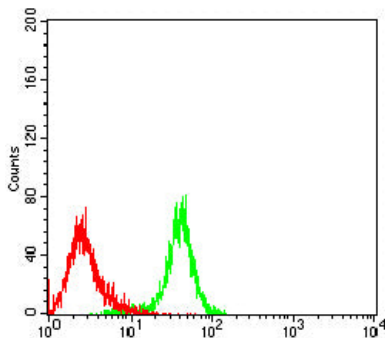
ピキチン結合タンパク質基質からユビキチンを特異的に切断するシステインプロテアーゼです。この遺伝子は、染色体 Xp11 上の遺伝子クラスターに存在する脱ユビキチン化酵素をコードしています。23

研究分野

画像データ



USP11 マウス mAb を用いた HeLa (1)、LNcap (2)、HepG2 (3)、K562 (4)、A549 (5)、Jurkat (6) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



USP11 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。